

会報 けやき会 2022

埼玉大学教養学部同窓会だより Vol.20

埼玉大学 文理学部 教養学部 の前身は旧制浦和高校



埼玉大学は、1949年（昭和24年）

当時の国立学校設置法に基づき旧制浦和高等学校・埼玉県師範学校・埼玉県青年師範学校の3校が母体の新制大学として設立されました。

旧制浦和高等学校は、現在の北浦和公園に設立された文科と理科の2科制の官立高等学校であり、その文科がのちの文理学部人文学科、そして教養学部と変遷していきます。

今回は、一昨年70周年を迎えた母校の歴史とともに、この現教養学部の前身である旧制浦和高等学校をレポートします。

■2つの系譜

埼玉大学の歴史を遡って行くと、2つの系譜にたどり着きます。一つは、1873（明治6）年、明治政府の要請を受けて教員養成学校ができた、翌年、埼玉県師範学校と呼ばれるもの。校舎は、現在のさいたま市岸町に建てられ、校内には附属小学校（文理学部）↑旧北浦和キャンパス 1967年頃

が設けられました。これが、現在の教育学部のルーツになっています。

■渋沢栄一も協力

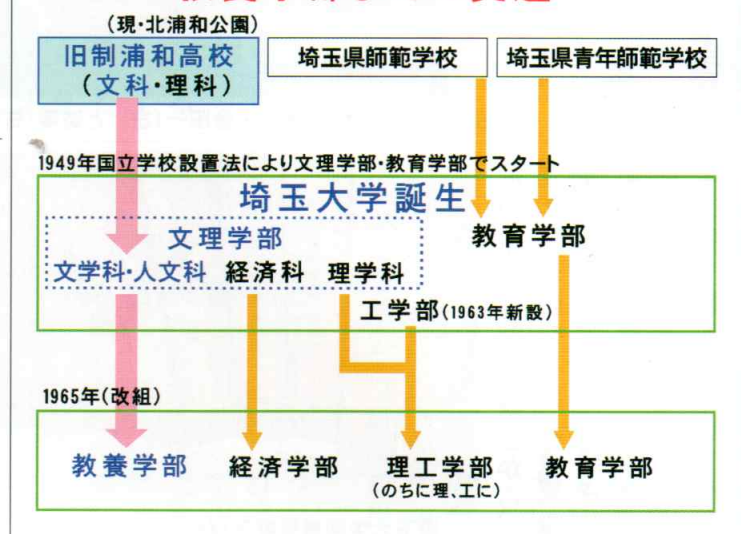
もう一つは、1921（大正10）年、全国で20番目に作られた旧制浦和高等学校です。当時、浦和町（現さいたま市）は学校を誘致するため、建設費の一部30万円の寄付金を募りましたが、あの渋沢栄一氏も多額の献金をして、初めて実現したといえます。

■新制大学として発足

しかし、戦後1949

2413坪）。
■2025年に60周年
1965（昭和40）年、文理学部の改組に伴って教養学部が設立されてから2025（令和7）年はちょうど60年。
けやき会では、この60周年記念に向けて、いろいろと盛り上げていきたいと思っています。今回は、その第1回目として、本誌で旧制浦和高等学校（以下、浦高と略）を取り上げてみます。

教養学部までの変遷



■8倍の狭き門

戦前の教育制度は、複雑だが、尋常小学校6年間だけが義務教育で、その後の旧制中学校（5年もしくは受験の場合は4年）、旧制高等学校（3年）、大学（3年もしくは4年）はすべて試験があり、厳しく選ばれていた。ただし、旧制高校から旧帝大へは、東大、京大以外はほぼ全員が入学できたという。それだ

→旧北浦和キャンパス全景
1967年頃



け、旧制高校の入試は厳しく、狭き門であった。

例えば、「埼玉大学五十年史」の資料によると、浦和高等学校

（以下、浦高）の1期生は、定員200人に対して受験者が1600人余り。試験期間中は、上野から受験者専用の臨時列車が出たという。出身は、東京府がいちばん多く、次いで埼玉県で

合わせて入学者の半数を占めていた。残りは、全国から秀才が集まった。

完成したばかりの寄宿寮には、111人が入寮した。入学金は3円、授業料は年額50円であった。寄宿寮は、年額20円。当時、学校周辺には何もなかったらしく、「当時は町並みもやや古風で静かで、（浦和の）裁判所から浦高まで一軒の民家もなく、広々とした田舎道を通って行った」と1期生の回想にある。

草創期、浦高の教員は、

校長1名、教授30名、助教授5名、書記6名という体制だった。

学生は、文科（甲・乙・丙）と理科（甲・乙）に分かれて授業を受けていた。甲は英語、乙はドイツ語、丙はフランス語が、それぞれ第1外国語であった。

第1回卒業生は、145名。卒業生の進路を見ると、最初の6年間の内訳は、東京帝国大学635名、京都帝国大学62名、東北帝国大学83名、九州帝国大学14名、千葉医科大学等医科大学、計16名となっており、卒業生のうち三分の二以上が東京帝国大学に進学している。



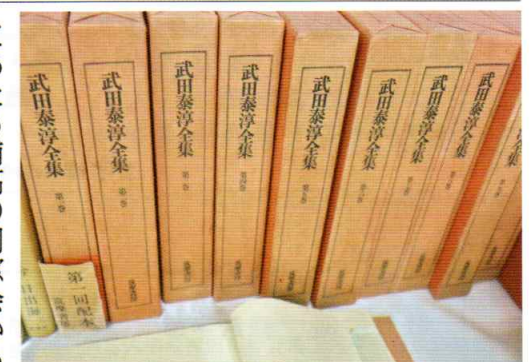
剣道部夏合宿（年代不明）

■数多くの著名人

卒業生の中には、著名人も多く、ごく一例を挙げれば以下のとおりである。



埼玉大学図書館展示資料・金田一（左）と澁澤（右）



埼玉大学図書館展示資料・武田泰淳全集

【政官界】
伊藤正義（衆議院議員）
畑和（埼玉県知事）
原文兵衛（参議院議長）
【経済界】
石原俊（日産自動車元会長）
諸井虔（元日経連副会長）
【学者・文化人】
江上波夫（考古学者）
金田一春彦（言語学者）
武田泰淳（作家）
澁澤龍彦（フランス文学者）
福田恆存（評論家）
半藤一利（作家）

■埼玉大学図書館にて公開

旧制浦和高等学校の後継として埼玉大学文理学部を経て、現在の埼玉大学教養学部、経済学部、理学部、工学部が創立しています。これら4学部共通のルーッ



埼玉大学図書館エントランス

にあたる浦高の同窓会から、先年、往時をしのぶ貴重な品々が埼玉大学に寄贈されました。寄贈品は図書館の一室に収められており、昨年10月、特別に見せてもらう機会がありました。コロナ後は一般公開する予定だそうです。ご期待ください。（岡田道程）

2021年秋の叙勲で、
埼玉大学で助教授として務
められた川田順造先生が文
化勲章を受章、また、埼玉
大学名誉教授の山口仲美先
生が文化功労者に選ばれま
す。おめでとうございます。

2021年 秋の叙勲

川田順造先生 文化勲章
山口仲美先生 文化功労者

おめでとうございます！

当記事は、2023 年号に訂正再掲しております。
そちらをご覧ください。

けやき会 会長あいさつ

けやき会会長 岡田 道程



まず、教養学部長の野中進先生が、再選され、さらに2年間学部長職をつづけられること、おめでとうございます。野中先生には、この2年間だけでなく、それ以前からけやき会ではずっとお世話になっております。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

さて、この2年間、全国のこの大学も新型コロナウイルス感染症の対応に忙殺されてきました。オンライン授業が、当たり前になり、時折感染が収まる時だけ、対面式授業が行われるというあり様です。授業や勉強の面では、遜色なくカバーできますが、教員との直接の触れ合いやクラスメートとの会話が不十分なのは、本当に気の毒です。部活動も一部を除いてほとんどできないのが現状です。

そんな中、同窓会のけやき会も、春の総会・講演会・



緑溢れる母校キャンパス

ン形式で何とか実施することができました。けやき会では、今年も活動の中心として埼玉大学教養学部と在学生にフォーカスして努力したいと考えております。具体的には、オンラインによる初の総会、教養学部教育研究支援金、けやき会による学生顕彰「けやき賞」の授与、経済事情に代わって今年新たにリニユーアルする大学寄附講義、卒業生による就職支援活動である「就活ゼミ」、すべての同

懇親会が2年連続で開催できませんでしたが、昨秋のホームカミングデーだけは、オンライン形式で何とか実施することができました。けやき会では、今年も活動の中心として埼玉大学教養学部と在学生にフォーカスして努力したいと考えております。具体的には、オンラインによる初の総会、教養学部教育研究支援金、けやき会による学生顕彰「けやき賞」の授与、経済事情に代わって今年新たにリニユーアルする大学寄附講義、卒業生による就職支援活動である「就活ゼミ」、すべての同

大学大学院文化科学研究科の卒業生の皆さん、さらには、教養学部等の旧教員、現教員もすべて網羅した最新版の名簿です。どうぞご期待ください。（ご希望の方で、まだ申し込まれていない方は受け付けております。）

今年も、皆さまのご支援、ご協力を切にお願い致します。

全学的な埼玉大学同窓会の活動では、埼玉大学ホームカミングデーを今年こそは対面で実施したいと考えております。また昨年、一昨年とコロナ禍において困窮した埼玉大生のための支援策として、2年連続、全学部的に同窓会で義援金を出し合い、学生、大学から感謝されたことも付け加えたいと思います。このように、けやき会では、できる範囲で、場合によってはコロナ以前よりも活発に活動をつづけています。

4月末には、8年ぶりに「けやき会名簿」（2022年度版）が刊行されます。けやき会では、この間、1年をかけて準備に取り組んできました。埼玉大学教養学部、埼玉大学大学院人文社会科学研究科の卒業生、在校生。そして埼玉大学文理学部文学科・人文科、埼玉



学部長あいさつ

教養学部長

人文社会科学研究所副研究科長

野中 進



一昨年度から学部長を務めていますが、この春からさらに二年、任されることとなりました。研究者としての残り時間を思うと、気が急くような思いもありますが、五十代というのは組織のために働くことも使命の一つなのだろう、と自分に言い聞かせもします。

この2年間はコロナ対応に追われました。大学がなかなか対面の授業に戻らないと社会的批判を受けることも多かったのですが、実際、この2年間に入学した学部生たちは気の毒なところがありました。友達作りにSNSを使ったりするところは現代的ですが、それでもキャンパスでの出会い

や語らいに優るものはないでしょう。

その半面、オンライン教育が充実し、これまでできなかったようなこともできるようになりました。私が試みたのは、ウクライナの友人と協力し、埼玉大学とポルタワ教育大学、リヴィウ大学で共同学生セミナーを行ったことです。学生たちに英文の報告を用意させ、討論させるといふもので、最初はなかなか発言できませんでした。去年、今年と二度やりました。去年以降も続けたいと考えています。

ご存知の通り、ウクライナは現在、緊張した政治状況にあり（この会報が出るころにはよい方向に解決していればよいのですが）、ウクライナの教員・学生は心労を抱えていたでしょうが、共同セミナーには毎回、楽しそうに参加してくれました。日本の学生たちの報告や討論は興味深かったようです。政治状況が厳しいからこそ、人文学の楽しさがひとしお感じられるというところもあったのでしょう。

この2年間で、けやき会とのお付き合いもますます強まり、就職支援やキャリア教育、奨学金などの面で多大な援助をいただいています。とくに若い世代が活動に参加してくれたおかげで、現役学生も同窓会をより身近に感じるようになったのではないのでしょうか。卒業して5年後、10年後の自分の姿をイメージする上で、20〜30代の先輩たちのお話はとても参考になるだろうと思います。

とはいえ、けやき会をこれまで支えてきて下さった上の世代（というより私も年をとってきて「同世代」となりつつありますが）の理事の皆さまには感謝の言葉しかありません。これからも親しくお付き合いいただき、教養学部の発展を助けていただければありがたいと存じます。

簡単ですが、ごあいさつに代えさせていただきます。



昨年のホームカミングデーはオンライン開催

第10回を迎えた昨年のホームカミングデーは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン形式で開催されました。

さまざまな企画をYouTubeで配信、好きな企画を何度も視聴できます。

第10回ホームカミングデー↓



←YouTube企画のひとつ

「埼玉大学の今昔」

旧キャンパスや大久保キャンパスの創生期が語られています。



会報 けやき会2022

目次

特集

「教養学部の前身は旧制浦高」

川田先生

文化勲章受章

会長あいさつ

学部長あいさつ

同窓生から

小宮 正三氏

川田 雅也氏

さきたま塾

就活ゼミ

先生からの寄稿

永田 雅啓氏

むつめゴルフ会

私の履歴書

第三回けやき賞

塚田 優也氏

海老原 奈央氏

けやき会総会報告

今年の総会

名簿発行のお知らせ

投稿募集

16 15 14 13 12 10 9 6 5 4 3 1

同窓生から

広く各地で活躍する
同窓生からのレポート

「狂言に魅せられて」

小宮 正三

(80年卒・哲学思想)
(83年終了・文化科学)

狂言の稽古を始めて四十
年余りになります。

親の影響で舞台や美術を
見るのが好きだった私が、
教養学部入学当初志したの
は美術史でした。ところが、
相談に伺った教授から言下
に無理と言われ、敢え無く
諦め、結局卒論のテーマに
選んだのは演劇でした。

そして、美学的に演劇を
論ずるといふ、間口の広い
教養学部ならではの課題を
抱え、そのまま院に進学し
ました。舞台を観ることが
好きで、そこに美を感じて
演劇をテーマに選んだ訳で
すが、学部時代から、観客
という立場を越えて舞台創
りの場を知らなければ、正
しく演劇を論ずることは出

来ないのではないかと考え
るところがありました。そ
して、プロの劇団に接触を
試みたりするうち、朝日カ
ルチャーセンターに狂言講
座が開設されることを知り
強く興味を惹かれました。



カルチャーセンター時代から
修理しつつ使い続ける稽古扇と謡本。

能狂言は学生になってか
ら観始めたのですが、特に
狂言が持つ身体的、音声的
な明解さ、力強さに魅力を
感じていました。自分の関
心が俳優の演技に焦点を当
てていたこともあり、自身
で体験するにはよいジャン
ルだと考えたのです。



朝日カルチャーの発表会での初舞台。
この時は紋付き袴姿で。(82年3月) <中央が筆者>

ない。当時ネスカフェゴー
ルドブレンドのテレビCM
で知名度を上げ、時の人とな
っていた万作先生の名前に
飛びつくミーハー的な選
択でもあった訳です。しか
し今となれば、この選択が
私の人生の彩りを大きく決
めることになるのでした。

講座初年度私は学部3年
生、月曜午前に新宿まで通
う時間も経済的余裕もなく、
この年は見送らざるを得ま
せんでした。その2年後、
院に進んで時間と経済に少
しばかりの余裕を持てた私
は、年に一度の募集が続い
ていた狂言講座に迷い無く
申し込んだのでした。

摺足と初歩の謡の稽古か
ら始まるこの講座の経験が
私の修士論文に及ぼした影
響が、実際のところ如何ば
かりであつたか。今となつ
ては客観的に見定める尺度
を持ちません。ともかくも
この経験も踏まえて論文を
書きながら、私はこの狂言
講座に熱心に通い始めるこ
とになります。

10月に始まった講座に学
生を終えるまで2年半通い
ました。私立高校の教員と
して就職してからは、この
間に昼間働く人向けに始まっ
た水曜夜の講座に移って続
けました。やがて初歩を繰
り返す内容に飽き足らなく
なり、師匠に、どなたかに
個人的に師事させていただ
けないかと相談したところ、
暫くして万作先生ご自身が
教えてくださるという回答
をいただきました。それか
らは先生の稽古舞台に通う
ことになりました。

爾来三十五年余り、月に
三回、前月までに師匠が決
められた日に稽古場に通う
生活が続いています。

稽古場に着くと、着いた
順に師匠と一対一で稽古を
受けます。狂言謡の稽古本
を前に謡を習い、次に舞台

に立って小舞を習います。
(能の舞に対し狂言では小
舞と言います。)稽古本は
初歩から重習(おもならい)
まで曲が並んでおり、この
稽古を通して身体、姿勢、
声の基本を身につけていき
ます。やがて年に一度の発
表会の演目が決まると、狂
言の稽古が始まります。

概ね晩秋の一日、能楽堂
に観客を招き、玄人と同じ
装束を着けて狂言を発表す
る万乃会が、私たち素人弟
子の最大のイベントで、こ
の日のためにそれまで一年
の稽古があるとと言っても過
言ではありません。



21年12月の万乃会一人狂言『見物左衛門』
左後方は、後見をされる師匠。

年に一度の回数を重ねて
これまで三十数番の狂言を
演じてきました。中には同

じ曲を、役を変えて演じたこともあり。年を経るうちに重い曲、特に師匠の許しを得て演じる曲にも取り組みました。『奈須与一語』『節分』『武悪』『悪太郎』などです。時には、急な怪我等で舞台に出られなくなった仲間と代わられた師匠と「共演」するという、嬉しいハプニングを経験することもありました。



万作先生肝いりの富山稽古合宿の1コマ。
息抜きに地元の人が出してくれた船で海釣りに。
釣果を抱えて。(93年夏)

個人的には、今は充実している。友人狂言師の数が手薄な時期に、立衆や地謡、或いは舞台働きという役で師匠の舞台のお手伝いをし、各地の舞台を踏むという貴重な経験もさせていただきました。

この間、師匠は常に狂言
狂言から私が得たものは、
とても一言では語り尽くせ
ません。ただ、野村万作と



近年6月某所、弟子内による師匠のお誕生会。
中央が師匠、右端が筆者。

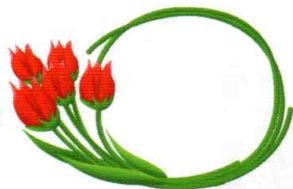
界の第一人者として、国内はもとより海外でも高い評価を得、多くの賞を受け、人間国宝にも認定されるといふ足跡を歩まれてきました。卒寿を過ぎてなお月の半分近く舞台に立ち続けられる、驚異的な体力、活力をお持ちです。

偉大な師匠に恵まれた我々弟子は、厳しい稽古を受けつつも、受賞記念等折々のお祝い事に参加したり、日頃の稽古後の一席に同席したり、お酒好きの師匠の人柄にも触れ、皆揃って師匠を敬愛しています。



萬斎師とも共演（勿論代演です）。
楽屋で記念写真。(98年10月)

既に高齢者の仲間入りをした私ですが、残る人生も狂言と共に充実させるべく、コロナ禍にも負けず感染防止対策を万全に、稽古場に
通い続けています。



—— 早速ですが『辰巳センセイの文学教室』とはどんな作品ですか？



川田 雅也
(95年卒・文人)

「辰巳センセイの
文学教室」

ネット小説大賞
第8回

高校の国語科教師、辰巳が学校で起こるトラブルを解決していく連作ミステリーです。選考では、現実の事件が名作文学と重なっていくユニークな構成と、作り込んだ人間ドラマの面白さを高く評価していただきました。

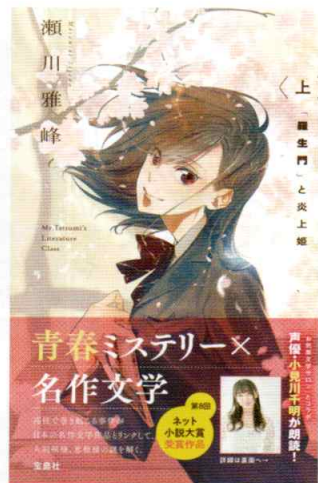
例えば一章『舞姫の時間』では女生徒が階段で転落事故を起こします。現場から消えたスマホ、欠勤の続く美術教師、もう一人の少女の存在……手がかりから見えてくる隠された事情。それが次第に森鷗外『舞姫』と似た構図を描きはじめる、現実と文学が重なっていきます。

クライマックスでバラバラの事柄は一点に収束し、辰巳の『講義』によって謎と、関係者の傷ついた心が同時に解かれます。

—— 凝った作りですね。

ミステリー十人間ドラマで楽しませつつ、若い人に文学好きになってほしいと思つて練りに練りました。でも実際の読者は大人の、特に女性の方が多いですね。

辰巳センセイの文学教室



『辰巳センセイの文学教室』
上巻 瀬川雅峰(宝島社文庫)

「何度も泣きました」「懐かしい青春を満喫しました」と嬉しい感想を頂戴しています。

ミステリー好き、ヒューマンドラマ好き、文学好き……どの切り口からでも読んで損のない作品に仕上がったと自負しています。まだの方はぜひ手に取ってみてください。

—— 現役教師で小説家は珍しいと思いますが、これまでの経歴は？

埼玉大を出てすぐ金融機関に就職しましたが、教師の夢を諦められず一年で退職してしまいました。その頃の教師は狭き門で、当初志望していた社会科は200倍超えでした。全然受からなくて、浪人中に友人の誘いでIT雑誌の記者、その

後は私立校の講師……と大きく回り道をして、10年以上かけてやっと国語科で教師になれました。収入も少ない時代が長くて苦しかったですが、今思えば回

り道の経験が教育現場でも小説執筆でも生かせてますから、無駄ではなかったかなど。

文章は高校時代から趣味で書いていて、コンテストで賞金をもらったりしていました。そのおかげで、教師浪人時代に旧友から記者にスカウトしてもらえたんです。教師になってからも趣味で小説を書いていましたが、大変な忙しさで長編は挫折してばかりでした。で、過労が祟ったのか、ある日倒れて深刻な病気が見つかりまして……無理はもうダメです、次は死ぬよ、と医者から叱られて(汗)

今でこそ元気に仕事に戻ってますが、一時期は教壇に戻れるかも危ぶまれる状態でした。そのとき書きかけの『辰巳センセイ』だけは

仕上げようと決意したんです。リアルで教師を続けるのが無理なら、小説で大切なことを書き残そう……そう思っただけで書き上げました。10ヶ月かけて書き上げました。で、その作品で受賞、書籍化されて全国の書店に並んだわけですから……もう本望としか言いようがないです。凄く嬉しかったですね。

—— 大学時代、教養学部については、どんな思いが？

大学時代を振り返っても、若い方々に偉そうに言えることは全くありません。やりたいことも見えてないダメ学生でした。コース選択でも締め切り直前までふらふら迷って……三十年経つので書いてしまいますが、最後は憧れの女の子が選んでた、という理由でもうここのでいいや、と選んでしまいました(笑)

卒業研究の時期になっても全然形にならなくて、卒業前に同級生から「単位をくださった先生に、お前は本気で感謝するべ

きだ！」と叱られたことは今でも覚えています。卒論が書けなくて留年する夢をその後、何度も見ました。あの悪夢で償ったことにしてももらえると……。

ただ、学問以外のことは、いろいろな挑戦して可能性を広げようとした。特に、大学時代でした。特に、深く話のできる友人達に恵まれたことは今でも宝になっています。教養学部の同級生のみんながいたから、自分は友人との付き合い方も、ありがたさも学べた。今の自分の考え方、哲学の基盤を大学時代に作ってもらいました。

そのときはただの失敗とは思えないこと、後悔したことでも後から——ときには何十年も経ってから考えてみると、大切な糧になっていたと気付けることって



『辰巳センセイの文学教室』
下巻 瀬川雅峰(宝島社文庫)

多いです。失敗や後悔の一つ一つがなかったら、自分は小説家としても書ける幅がぐっと狭いままだったでしょうし。

これを読んでくれている若い方が、教養学部で実り多き時間を過ごせますよう祈っています。現役で通っている方は特に。大学を、人生を思い切り楽しんでほしいですね。



教員の異動

2021年4月1日付

【着任】

小杉 亮子准教授
西山 尚志准教授
松宮 昌子講師

【教授昇任】

草野 大希准教授
川野 靖子准教授

【退職】

2022年3月31日付
権 純哲教授
平林 紀子教授

2020年4月にスタートした「さきたま塾」
これまでに13回実施され、多くの皆さん
が参加、内容も充実してきました！
これまでの活動をご紹介します。

卒業生と在學生を繋ぎ、
互いの成長を目指す
オンラインセミナー

さきたま塾



「さきたま塾」とは・・・

「さきたま塾」は教養学部生を中心に、全ての埼玉大学卒業生＆在學生へ学び＆経験を提供するオンラインセミナー。活動の概要としては、1年間に6回ほど、オンラインの「Zoom」にて、卒業生が自身の埼玉時代や仕事についてプレゼンし、議論と考察を深めています。

◇活動内容＆活動方針

- ・卒業生が自身の埼玉大生時代や仕事についてプレゼンし、議論＆考察を深めます。
- ・在學生は卒業生のプレゼンを自身の埼玉大学での学生生活＆就職活動の参考として活かします。

◇メンバー

- ・塾長：田口美一(81年卒 社会システム／けやき会理事／経済アナリスト)
- ・会員：120名以上が参加
- ・事務局代表：石澤和也(10年卒 国際関係論)

昨年度は
こんな活動を
しました！

第8回(2021年4月12日)

「就活体験記」・「米国経済」



①OG山坂さんのプレゼン「就活体験記」

建設業界で働く山坂さんは同業で活躍する女性が少ない点で不安を感じていたそうです。参加者からも女性の現場での活躍について質問があり、テレワークの導入状況や実際に入社した上で感じる働きやすさについて率直な意見を伺うことができました。

② 田口塾長のプレゼン「米国経済」

米国経済と日本経済の比較内容を題材とし、今後の日本や自分たちが進むべき方向を参加者全体で考え、議論を深めました。田口塾長からは「ひとつずつ、自分の頭で考えて行動すること」が大切だとエールを頂きました。

第11回(2021年10月2日)

「オンライン芸術鑑賞会」・「昭和の経済成長とバブル崩壊」

① 佐藤あゆかさんのプレゼン「オンライン芸術鑑賞会」

キャンベルスープ缶、マリリンモンローで有名なアンディ・ウォーホル等、1960年代のアメリカのポップアートの作品を鑑賞、第二次世界大戦後のアメリカの経済成長がポップアートの成立を促したこと等、社会背景とのつながりも解説していただきました。後半は、当時開催中の展覧会の見どころも解説。日本の歴史の中で描かれてきた美少年、美青年像を辿る企画展「美男におわす」等、面白い企画が盛り沢山でした。

② 若林祐貴子さんのプレゼン「昭和の経済成長とバブル崩壊」

戦後の日本経済の上り下り、高度経済成長とバブル崩壊の要因と結果を、イラストや統計を交えて分かりやすく解説していただきました。「バブル経済は経済成長の話ではなく、投機の話だった」とまとめた上で、コロナ禍で考えたこと、アフターコロナで取るべき行動についても発表があり、自分自身の生活を日本経済と結び付けて見直すきっかけにもなりました。



その他にもこんな内容で開催しました！

第12回(2021年12月19日)

「デジタル経済って何？」

産業革命とは？

チャップリンのモダンタイムスと今？

① 穴戸由加里さんのプレゼン「デジタル経済って何？」

② オンライン忘年会

第13回(2022年2月26日)

「社会人目線での就活振り返り」

① 山家汐理さんのプレゼン



「さきたま塾」は

誰でも参加OK！

「さきたま塾」の開催はけやき会ホームページでお知らせ、誰でも参加OKです。

Zoomでの開催ですが、顔出し・発言無しでも大丈夫、ただラジオのように聞くだけの参加でもかまいません。

一度ぜひ、チェックしてみてくださいね。

さきたま塾・就活ゼミ 活動に寄付のお願い この活動を支えるため皆さんの支援をお願いします！

銀行名：埼玉りそな銀行 北浦和西口支店 店番：349 科目：普通 口座番号：4534302

名義：埼玉大学教養学部同窓会 けやき会 (なまえ：サイタマダイガクキョウヨウガクブドウソウカイ)

※上記口座は、「さきたま塾」と「就活ゼミ」の共同管理です。厳正に管理しながら後輩の為に、活用させていただきます。

2021年度の就活ゼミは新型コロナウイルスの影響で、対面でのゼミ活動は縮小しましたが、その代わりにオンラインでの活動を強化しました。採用側の面接もオンラインが増えていくなか、それに沿った対応になりました。

オンラインでのマンツーマンでのサポートというところで時間・場所の制約がなく、その部分ではいいフォローができたようでした。

けやき会では就活生たちと寄り添い、より一層充実した就活ができるよう引き続き、活動を展開していきます。



けやき会の就活応援 就活ゼミ

オンライン活用 コロナの中でも しっかり取り組み！



22卒の就活を 振り返って

就活ゼミ代表 高木真慈
(18 欧米)

学内での授業が再開されて久しいですが、コロナがあまりの大学生活は続いています。

面接でもコロナの話題が尽きることはしばらくなさそうですが、昨年まで感じていた新鮮味を感じなくなり、今年は打って変わってコロナエピソードには飽きを感じるようになりました。慣れですね。

本来ならばユニークであるはずの個々人の学生生活が「会えない」「近づけない」ことによって多くの機

会が失われ、似通りはじめていることを感じます。

ただ、差別化された人材はコロナによって経験の均一化が進んでいる中でも自分を均質にはさせません。他の人と同じ経験であったとしても、自分にとってどんな価値があったのかを語る事ができます。

その経験が自分にとってどんな意味があったのかを伝えられれば相手は飽きを感じません。そんな話ではないかと思いついていて、話す練習が足りないだけではないかと思いついていて、人でもはじめから上手い人はいません。人に話すことでだんだんと上手くなるのです。面接対策の練度がそのまま差別化になります。自信がついたら面接に行きたくになります。

自分で自分の経験の価値を決めないでまずは人に話してみる。これが自分の言葉で伝えるためのスタートになります。



代表 高木真慈

参加者の声

「私の就活と埼大時代」

自分のペースで進めた就活

志水瑠奈

(現代社会専修
社会コミュニケーション専攻)



教養学部の志水瑠奈と申します。私は3年生の2月から就職活動を始め、6月に内定を頂くことが出来ました。

4月からは人材業界で働く予定です。私自身、就活のスタートがかなり遅くなつてしまい、苦労したことがたくさんありました。今回は、就活に取り組む学生のみなさんに少しでも役立つことをお伝えしたいと思っています。

まずは就職活動のスケジュールについてです。就職活動を早めに始めた方がよいということは言うまでもあり

ません。しかし、私のように遅く始めた人でも心配する必要は無いと思います。エントリーや面接の時期がいつなのか把握し、それに合わせて準備をすることが大切です。

私は「まだガクチ力が出ていないから」「今は忙しいから」という理由で、就活を行うことを避けていた時期がありました。選考ではエピソードの質も大切ですが、見せ方で評価されます。とにかく手を動かしてエントリーシートを書いてみたり、声を出して受け答えの練習をしてみたいと思います。



そして選考対策についてです。特に面接は数をこなした方が上達すると思います。私は自分の興味に繋がる企業の選考を多く受けたことが、内定に繋がったと考えています。日々受け答えを修正していくことで、手応えを感じられるようになります。

また自分なりの工夫を加

えていくことも大事です。私は毎回の面接で、面接官自身に関する逆質問と、1分間の自己アピールを必ず行っていました。周りの人と少しでも差を付けられる方法を見つけられると選考がスムーズに進むと思います。

最後に、コロナ禍で同学年の友達がどのように就活しているのかも分からず、苦勞している学生がたくさんいると思います。私もその一人でした。

しかし助けを求めれば、現在就活ゼミを引っ張っている高木さんが熱心に向き合ってくれましたし、埼大のキャリアセンタ―の方もいつでも相談に乗ってくれました。一人で悩まず、たくさんの方の話を聞きながら、ゆっくり自分の進路を見つめ直すのも良いと思います。

就活は辛いことも多いですが、自分の人生に真正面から向き合う良い機会になります。是非、力を尽くしてみてください。



人との繋がりの大切さ

宮島仙太郎

(21) 現代社会専修
社会コミュニケーション専攻



教養学部現代社会専修、平林ゼミにて昨年度卒業しました。宮島仙太郎と申します。

昨年4月からIT系商社で法人向けにバリバリ新規営業を行っています。

私は、3年の1月から就活を始めた「出遅れ勢」でしたが、納得感を持って今の仕事をしています。なぜ、納得感を持つことが出来たか、それは学生時代を通じて①徹底的に自己分析を行ったことと、②学生時代を通じて出来た自分のキャリア観にあります。

①の自己分析を行うことにおいて、埼大で出会った就活ゼミの存在はとても大きいものでした。私は編入学生ということもあり、サークルにも所属しておらず、唯一のゼミメンバーも個々で黙々と就活する人が多かつ

たので一人と一緒に就活をする」ということは頭にありませんでした。

そんな中、出会ったのがどこかの掲示板に貼ってあった「就活ゼミ」の一言。それを見て私はとりあえず行ってみようと思い、休日の教養学部棟へ足を運びました。そこで出会ったのが定期的な就活ゼミに参加して頂いていた「小田島さん」の存在でした。

小田島さんは、他私大含め様々な場所では活生のサポートを行い、人脈もとてもなく広くシンプルに「すごい人」でした。そんな小田島さんをはじめ、石澤さん、高木さんを主軸に埼大内でも、意識の高い就活生が集まっているゼミが「就活ゼミ」だと知りまし

た。様々なキャリアと経験を持っている「大人のひと」と様々な業界を志している「就活生」が同じ空間で、ロープレや就活相談、日常会話をしました。



そこで多くの人と繋がり、話すことで、自然と就活の柱、自分がやりたいことを深く言語化することが出来た点はとても有意義でした。

②の自分のキャリア観について、私が元々外語系専門学校生であったことが、もう1つの要因になります。

この外語専門学校では、大学以上に多様なバックグラウンドを持った人が集まります。帰国子女や20代の経営者、現役アイドル。そして1日の半分は様々な国のネイティブと会話をします。浪人時代、人との繋がりが全くなかった私にとって、この環境はとても刺激的で自分のキャリア観を変えらる大きなきっかけとなりました。

その後埼大の教養学部へ編入し、様々な知見や経験を持つ方々がいる教養学部や就活ゼミで学んだ私が思ったのは、「自分のキャリアは自由なんだ」「ファーストキャリアが全てじゃない」当たり前ですがそんなことでした。

そんな考えになった私は、厳しい営業の専門学校に入學し、その学校の単位を持つて、また別の面白そうな環

境に編入してやろうと思いつながら、毎日営業で走り回っています。



就活ゼミに協力いただける方、募集しています！

会社訪問受付OKの同窓生の皆さん、ぜひ連絡ください。会社訪問OKリストに加え、後輩に紹介します。

また人事関係に勤務されている同窓生のみなさん、情報がありましたらお寄せください。

連絡は、けやき会ホームページの「問い合わせ」から。情報お待ちしております！

■有志の方のカンパも大歓迎です！（9ページ下参照）



就活ゼミのホームページはこちら↓からもアクセスできます。

先生からの寄稿

「今を生きる」

前 埼玉大学教授

永田 雅啓

3月5日(土)に平林紀子先生の最終講義に参加し、会場には文化人類学の三浦敦先生もいらしてました。実は、私を含むこの3人は、世代は少し異なるものの1994年に埼玉大学に着任した同期の桜です。

講義のあと、3人で少し話し合いましたが、30年近い時の流れを感じずにはいられませんでした。一番若い三浦先生は、当時の学生向けコース説明会で、岡崎勝世先生から、「キミキミ、学生の席はあっちだよ」と言われ、「あのー、僕、教官なんですけど・・・」、「アッ、失礼!」という会話が交わされたほど初々しかったのです。

埼玉大学へ来る前は民間の研究所でアメリカ経済を中心とした研究をしていましたが、埼玉大学へ赴任してから、教育自体が私の

研究テーマになったような気がします。

私の研究は実証分析で、データを使って現状を客観的に把握することが仕事であり、そのためには数えきれないほどのトライ&エラーを繰り返して新たなファクト・ファインディングをしていきます。こうした手法をそのまま教育に応用したと言っても良いかもしれません。そして、教育によって人間は大きく変わっていきます。場合によっては、その人の人生を左右するような影響力があるかもしれません。その意味で責任が重いのです。

そして、月日が経過して思うのは、教え子が社会に出て、その成長を見守ることができるのは、他の職で



筆者(スイス、ハイジの山小屋にて)

は得られない大きな喜びだということでした。卒業した後の人生は、一人一人が現在進行形のドラマのようで、一人一人がレジェンドです。一つの例をご紹介します。

昨年、現在勤務している麗澤大学の同僚から、インドネシアの協定大学について質問を受けました。現地の状況がよく分からず、学生を送るに際して様子を知りたいとのことでした。

そこで、ジャカルタに駐在経験のある元ゼミ生のN君(元商社勤務、現在は開発コンサルタントとして世界で活躍)に連絡すると、快諾してくれただけでなく、ゼミで1学年上だったOさんにも連絡を取ってくれました。

彼女は日本企業のインドネシア法人の社長として現地社員の採用から統括もしていたので最新の事情に明るいとのことでした。Oさんは一昨年帰国して会社を退職し、現在はシンガポールに仕事の拠点を移したとのこと。

さらにOさんの元部下で協定校の立地する町に住んでいる現地の方にも参加し

てもらい、日本とシンガポールとインドネシアを結んでZOOM会議を開きました。会議の7割はOさんの雄弁で占められましたが、流石に現地の状況に詳しく、感心しました。



このOさんには思い出があります。当時、教養学部1年生だった彼女が仲良しの2人と一緒に私の講義に出席し、教室の後ろの壁に貼りつくように座っていました。

その3人のうちの一人が長い髪を金髪に染めていたので、「その一番後ろに座っている極楽鳥みたいな頭をした人!」と呼び掛けて質問したのですが、授業が終了した後、Oさんがやって来て「先生、極楽鳥って本当にいるんですか?」と質問してきました。

「パプアニューギニアに生息しています。鳥類図鑑で調べてごらん下さい。」と答えたものの、内心では「ヤレヤレこんな3人でも適当に4年間過ごして卒業していくんだろうな」と思っていました。やがて、その

むつめゴルフ会

むつめゴルフ会は2006年に発足、全5学部卒業生、教職員が参加、同窓生の懇親を深めています。

昨年はコロナ感染対策を徹底し、2年ぶりに開催することができました。

今年は11月17日(木)開催予定。詳細は決まり次第、けやき会HPでお知らせします。皆さんの参加をお待ちしています。

2021年11月18日、大宮国際カントリーにて25名が参加し、埼玉大学同窓生による第14回ゴルフ会が開催されました。

オミクロン株の蔓延する前のデルタ株による感染者数が少なくなった頃だったので開催できましたが、例年よりだいぶ少ない参加人数になりました。

特に教養学部出身者は2名、残念な人数です。学生時代のサークルなど他学部の先輩・同僚・後輩など交流ができる少ないチャンスです。

今年2022年のゴルフ会は11月17日(木)に開催する予定です。より多くの皆さんの参加をお待ちしております。

尚、実行委員長は1982年経済卒の手嶋毅さんに交代致します。



むつめゴルフ会の
FACEBOOK
はこちら↓



世界有数の長寿社会となつた今、これからの人生をどう有意義に過ごすか、というのは重要な課題です。

何らかの社会貢献をしながら明るく過ごす、というのが私の理想です。

実際、かつての私のボス（元経済企画庁のNo2）は、90歳の今でも毎月ゲストを呼んで国際情勢やアメリカ大統領選などについての定例会を開き、専門誌にも投稿しています。その議論の様子は、私が仕えていた50代の頃とほとんど変わりません。

グローバルガバンス専
修の大先輩である高山巖先
生は、80歳を過ぎた今でも
研究に勤しみ、日課の散歩
中にはラテン語の単語帳で
学び、さらには挑戦的な論

テレビの番組などで100歳前後の人にインタビューすると、みな一様に幸せそうで、「こんなに長生きしてしまつて・・・」などと悔恨する人は見たことがありません。これは脳機能の問題で、不安や不幸だと思ふ感覚が弱まるためらしく、90歳を過ぎると、たとえベッドで寝たきりであつても至福感を味わえるのだそうです。そういう意味では、誰でも明るい未来が待っていると言ふべきでしょう。

最後にガンジの言葉でこの小文を結びたいと思います。「明日死ぬと思つて生きなさい。永遠に生きると思つて学ばなさい。」



投稿 募集中

私の履歴書

HPに同窓生の歩みと今を紹介するページができました。
名付けて「私の履歴書・けやき版」。
同窓生のみなさんのこれまでのエピソードや今の様子を、
どんどん紹介します。



第1000年（教養12）		
国文・英語	国語・英語	『オズの魔法使』、『風と雲と虹と』、『おどろけ物語』、『道草物語』
		90
第1004年（教養16）		
中国語・英語	中国語・英語	『中国の発展と未来』
		90
第1006年（教養18）		
英語・国語	英語・国語	『現代の英語』、『現代の国語』、『現代の英語と国語』
		90
第1010年（教養19）		
英語・国語	英語・国語	『英語と国語』、『英語と国語の発展と未来』、『英語と国語の発展と未来』
		90
第1012年（教養19）		
英語・国語	英語・国語	『英語と国語の発展と未来』、『英語と国語の発展と未来』
		90
第1016年（教養22）		
英語・国語	英語・国語	『英語と国語の発展と未来』、『英語と国語の発展と未来』
		90
第1018年（教養23）		
英語・国語	英語・国語	『英語と国語の発展と未来』、『英語と国語の発展と未来』
		90



ミニ同窓会に
補助金を支援！

8名以上の同窓生の集まりにけやき会より1万円補助します。コロナが明けたら同期生や先生を囲む会などを企画して、同窓生のネットワークを拡げましょう！

※補助金申請については事務局へメールでお問い合わせください。



埼玉大学基金にご協力を！

埼玉大学の学生と本学の環境の整備・充実のために、
温かいご支援をお願い申し上げます。詳細については、
埼玉大学ホームページをご覧ください。

埼玉大学基金は次の3区分から構成されています。

1. 埼玉大みらい基金
2. 冠奨学金基金
3. 埼玉大学修学サポート基金



埼玉大学ホームページ
または「埼玉大学基金」
で検索してください。→



けやき会学生顕彰 第三回けやき賞

特別優秀な在学学生を称え、その研究活動を後押しすべく創設された『けやき賞』その第三回は2021年秋、2名の学生に贈呈されました。塚田優也君（芸術論）と海老原奈央さん（英文学）です。二人とも教養学部を卒業、人文社会科学研究科修士1年です（受賞当時）。おめでとうございます。

塚田優也さん

埼玉大学大学院

人文社会科学研究科

博士前期課程

文化環境専攻 1年



此度はけやき賞にご選出いただきありがとうございます。栄誉ある賞を授かります。

大変嬉しく存じますとともに、今後いつその修練に励むことを強く決心いたしました。

私は、哲学者ジル・ドゥルーズと精神分析家フェリックス・ガタリという、フランス現代思想において重要人物であるこの二人組に関する研究を、美学の分野で行なっており、卒業論文では彼らの主著のひとつ『千のプラトーン』を、〈職人〉の美学という観点から読み直す作業に徹しました。現在の課題としては、彼らの最晩年の主著である『哲学とは何か』を中心に、ひとは他者をどのように愛することができると考えています。ここで鍵となるであろう概念は〈友愛〉です。

ドゥルーズとガタリが互いに友人であったことは言うまでもありませんが、彼らの記述やインタビュー記録を参照するに、彼らのあいだにはある種異質な関係があったように感じられます。それは性愛の関係でもなければ、同じイデオロギーのもとに属する「同胞」のような関係でもない。この

関係をいかなるものとして捉えることができるか、そしてその関係は、われわれの生においてどのように活用できるのかを検討します。最後になりますが、この場をお借りして、日頃から影に日向に支えていただいております同窓生の皆様、また研究にとどまらず多方面でお世話になっております諸先生方に改めて深く感謝申し上げます。結びの言葉に代えさせていただきます。皆様のご尽力に応えられるよう、がんばります。

海老原奈央さん

埼玉大学大学院

人文社会科学研究科

博士前期課程

文化環境専攻

欧米文化コース 1年



このたびは第三回「けやき賞」をいただき、心より感謝申し上げます。

私は文学研究を専攻し、

現在は二十世紀初頭のイギリスの作家E・M・フォースターについて研究を進めているところです。受賞にあたって、文学研究という学問と今後の取り組みについてご紹介したいと思えます。

卒業論文はイギリス文学をテーマに、オスカー・ワイルドの長編小説『ドリアン・グレイの肖像』を分析しました。作品におけるストーリーの組み立て方や言葉の使い方、細かい部分では登場人物の名前や特定の章など小説の中に書かれているものの分析を通じて、作者の意図したテーマを再検討するといった内容です。

文学作品に書かれたものは全て意味を持つ、というのは私が学部時代に学んだことでした。季節や天気、服の色、何気ない会話など書かれたものの全てに作者の意図や心理を見ることができるとです。それらの中には社会背景の理解、比喩など文学の表現技法に関する知識、他の作品との比較や文学史における位置付けといった学術的なアプローチを通して初めて理解できるものもあります。こうして

何度も作品を反芻しながら国や時代を隔てた作者の思想、問題意識、時には遊び心にもふれることは文学研究を通して得られた楽しみであり、また自分とは異なる文化に対して理解を深める手段でもあると思います。

修士論文では、フォースター作品の結末部において言葉で書かれている内容とその表現技法のギャップに注目し、これを作家フォースターを特徴づけるものとして論じたいと考えています。彼の作品は多くが異なる価値観を持つ者同士の交流を主題としており、相互理解の困難が徹底的に描かれていると言えるでしょう。

そうしたテーマのもと提示される結末は悲しくも希望を予感させる、あるいは大団円なのに物悲しいという独特の雰囲気があるように思われます。

説得力の求められる研究であり悩むことも多々ありますが、栄誉ある賞に恥じぬよう今後も研究に励みます。



けやき会総会報告

2021年6月予定の「2021年度けやき会総会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止とさせていただきます。議案書はけやき会ホームページにてご覧いただけます。(けやき会ホームページ左側の「けやき会総会」をクリック)

【2021年度(令和3年度)提案の活動計画】～昨年度提案、承認されたものです。

1. 総会、講演会、懇親会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止
2. 教養学部教育研究支援金・・・10万円
3. けやき会による学生顕彰「けやき賞」(2020年度 第2回、2名、計10万円)
4. 大学寄附講義の開講
 - ・卒業生による社会と世界を知る実践的な講義
5. 埼玉大生のための「就活ゼミ」(卒業生による就職支援活動)
 - ・在学生、特に4年生のための同窓生による就職支援活動
6. 「さきたま塾」オンライン講座(2020年2月より開講)
7. けやき会「ホームページ」による様々な情報発信
 - ・「けやき広場」「けやき商店街」「私の履歴書」「さきたま塾」など
8. 会報「けやき会」の発行(2022年3月予定)
9. 新入生用「けやき会パンフレット」
10. 新入生会員による生涯会費納入の案内(大学及び埼玉大学同窓会と協力して)
 - ・生涯会費:30,000円(5学部同窓会とも共通)
11. 同期会、専攻別・地域別同窓会への支援
12. 2022年版同窓会名簿発行(2022年4月予定)
13. 常任理事会(オンラインで開催)

その他、埼玉大学同窓会(全学部)の活動として

14. 埼玉大学ホームカミングデー(HCD)・・・懇親会を除いて、オンラインで開催予定
15. 2021年度埼玉大学同窓会代議員総会・・・7月17日(予定)文書審議
16. 埼玉大学同窓会理事会・・・メール審議

【2021年度(令和3年度)けやき会決算】

～昨年度提案、承認されたものです。

2号議案		埼玉大学けやき会決算報告	
		会計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)	
収入の部	項目	2020年度実績	2019年度実績
	入会費・寄付	394,000	522,997
	入学時入会費(66+2名)	1,997,062	2,211,630
	利子	20	21
	懇親会・2次会費	0	280,000
	計	2,391,082	3,014,648
支出の部	項目	2020年度実績	2019年度実績
	HP管理費	104,500	104,940
	会報費	203,150	238,438
	会報発送費	797,194	793,825
	総会費	0	上記は総会費を含む
	埼玉大学同窓会会費	394,000	298,000
	懇親会・2次会費	0	244,200
	名簿費	7,896	3,364
	会議費	0	97,800
	事務費	54,692	55,242
	ミニ同窓会費援助費	10,000	50,246
	学部教育研究支援金	100,000	200,000
	学生表彰(けやき賞)	100,000	0
	寄附講座費	170,000	180,440
	就職活動費	210,300	260,000
	口座振替手数料	8,556	
	計	2,160,288	2,526,495
	項目	2020年度実績	2019年度実績
	収入	2,391,082	3,014,648
	支出	2,160,288	2,526,495
	単年度収支	230,794	488,153
	前年度繰越金	3,382,703	2,894,990
	次年度繰越金	3,613,497	3,382,703

【2021年度(令和3年度)けやき会役員】

～昨年度提案、承認されたものです。

会長	岡田道程（76哲思）	
副会長	吉野 晃（80文人） 萬年拓郎（85国関）	堀江 誠（81哲思）
常任理事	栩木 誠（70中文） 飯沼麻儀（85現社） 平野友紀（94現社） 石澤和也（10国関） 羽賀美樹（13国関） 穴戸由加里（18国関）	飯塚 好（73文人） 稲葉雅美（92哲思） 石原 裕（95国関） 井下（設楽）咲紀（11国関） 金子将也（14歴史16文化研） 高木真慈（18欧米）
理事	山野清二郎（65国文） 赤津光一（70独文） 河野（高須）真澄（78歴史） 田口美一（81シス） 中山（相馬）文宣（94文人96文科研） 中川和広（04国関）	林野 宏（65地理） 足立 創（76歴史） 中嶋広国（91シス） （94文人96文科研）
顧問	酒井憲太郎（70日文） 武井 尚（70日文） 石田義明（75国関）	
監事	関根増男（69文人）	

7月2日(土)

2022年度総会は7月2日(土)午後3時～ オンライン(Zoom)で開催予定!



PM3:00～(予定)

「2022年度けやき会総会」は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、オンライン(Zoom)で開催します(講演会はありません)。詳細については、けやき会ホームページでお知らせします。また総会での決議事項等は後日ホームページにてお知らせします。ご了承くださいませ。

同窓会活動の活性化のため、また後輩である在学生応援のため、様々な情報を募集しています。どうぞご協力ください。

就活支援できる方、連絡ください!

就活生のOB・OG訪問OKの方、連絡ください。ぜひ頑張る後輩たちの力になってください!

お店や起業した方、連絡ください!

「けやき商店街」として同窓生のお店・ビジネスをけやき会HPや会報等で紹介します。

投稿希望される方、連絡ください!

会報やホームページで紹介します。近況報告を会報に掲載します。HPの「私の履歴書」の投稿受け付けます。

ミニ同窓会開催したら連絡ください!

コロナが明けて、同窓会が開催できたら連絡ください。8名以上の同窓会に1万円の補助金進呈します。

住所変更・・・何でも、連絡ください!

住所や連絡先の変更などありましたら、連絡ください。皆さんの情報こそが同窓会の宝です!



連絡は
けやき会HP
「問い合わせ」
まで

「けやき会」ホームページを見てみよう!



同窓会の最新情報は、ホームページで!

『埼玉大学 けやき会』で検索できます。

上記の総会の情報や、「さきたま塾」や「就活ゼミ」の情報、「私の履歴書」など同窓生の投稿記事もあります。

また、「けやき会」への問合せも、このホームページからお問い合わせいただけます。

スマホなら
↓こちら



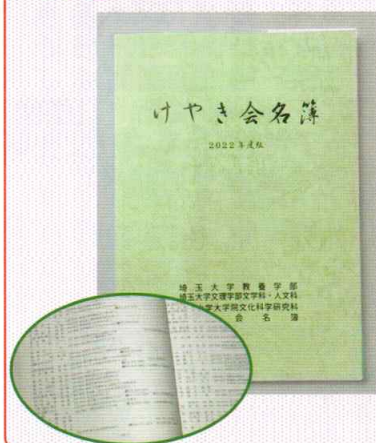
新しい「けやき会名簿」ができました!

2022年4月発行

以下の方には4月下旬より順次お届けします。

- ・昨年度以降、新規にけやき会永年会費を納入し、名簿をまだ受け取っていない方。
- ・今回名簿購入を申込、ご入金済みの方。
- ・広告または賛助会員にお申込みいただいた方。

上記以外で今回発行の新しい名簿を購入希望の方は、けやき会ホームページの「問い合わせ」よりお問い合わせください。(頒布は同窓生限定です)



編集後記：なかなか先の見えないコロナ禍のなかですが、「さきたま塾」「就活ゼミ」「寄附講義」「新名簿発行」・・・同窓会のコロナに負けずに進んでいる活動の様子も紹介できました。同窓生の皆さんのさまざまな活動もたくさん紹介したいと思います。皆さんの情報お待ちしております。

会報「けやき会」
Vol. 20

2022年4月1日発行
(年1回発行)

発行者：埼玉大学けやき会(埼玉大学 文理学部文文学科・人文科、教養学部 / 大学院 文化科学研究科、人文社会科学研究所 同窓会)
会長：岡田 道程 編集：堀江 誠

埼玉大学けやき会事務局 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保255番地 埼玉大学教育機構棟3F埼玉大学同窓会事務局内
TEL/FAX : 048-858-9218 E-mail : info@keyakikai.net